

別記

スト状報 第三報

九月六日午未
争議本部書記局

スト二日を迎へ主觀的狀勢益々有利である。我等の結束は愈々。見よ！社會的輿論は益々好轉し裏切者の運轉する電車自動車は大事政續出し批難の聲は集中されてある。在郷軍人團、青年團自重当局の爲めに動く。支配階級の内部に於ける対立的影響より吾々の立場は未だ當てない好條件に置かれてある。特に交際協會等偽團體の積極的応援の奮起など、我々の勝利を以て益々不動のものたらしめんとしてゐる。

斯る狀勢よりして電氣局の狼狽振りは何れ。四十五名職首發表後には第二次職首發表等の計畫に依る脅圧的政策は社會の同情を惹き愈々我等の上に乗するのみぞ、又争議團の結束は愈々強化し統制ある行動は出向として戦慄せしめてゐる。

其後の狀勢は尤の如くぞ。

- ・ 神戸市電は昨夜我大執行委員會を擁ぎ対策を協議、取敢ず三。團也を以て代表者二名を送り事を決定、更に各職場に大衆的基金募集に着手。
- ・ 名古屋市電でも各職場に基金募集の計画日中上送金するところ報告があつた。
- ・ 大阪及神戸組合代表者は上京後、市及電氣局と訪問、暴圧反対、案撤回を要求すると共に籠城團に激勵挨拶に歴訪する筈ぞ。
- ・ 市の道路奇運轉手入々々、ハ動員せんとし、市従業員組合は完全に喰ひ留めた。
- ・ 軌工部ハ一斉に總罷業決行以未氣勢昂り結束は益々固く、掃の藪を引く操に乘る各支部の狀報は首腦部も勇躍せしむるのみぞ。團員の統制振りは東交各支